

梅雨明けに関するお知らせ

平成22年7月17日11時05分
佐賀地方気象台発表

(見出し)

福岡管区気象台は、「九州北部地方(山口県を含む)は、梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

(本文)

九州北部地方(山口県を含む)は、高気圧に覆われて概ね晴れていますが、湿った気流の影響で雨の降っている所があります。向こう一週間は、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、九州北部地方(山口県を含む)は7月17日ごろ梅雨明けしたとみられます。

(参考事項)

1. 平年の梅雨明け 7月18日ごろ
2. 昨年の梅雨明け 8月4日ごろ
3. 梅雨入りを発表した6月12日から7月16日までの降水量の合計(速報値)

気象官署

	降水量の合計	期間の平年値	平年比
佐賀	670.5ミリ	(488.4ミリ)	137%
アメダス			
伊万里	673.0ミリ	(534.7ミリ)	126%
嬉野	723.5ミリ	(609.6ミリ)	119%
白石	571.5ミリ	(512.4ミリ)	112%
川副	570.0ミリ		
唐津	669.5ミリ		
佐賀市北山	1001.0ミリ		
鳥栖	821.5ミリ		

()内は6月12日から7月16日までの期間の降水量の平年値であり、降水量の合計は速報値です。

- * 佐賀の平年値は、1971年～2000年の平均値です。
- * その他の平年値は、1979年～2000年の平均値です。
- * 川副は2003年から統計を開始しているため、期間の平年値と平年比はありません。
- * 唐津、佐賀市北山、鳥栖は2010年から運用を開始しているため、期間の平年値と平年比はありません。

(注意事項)

- ・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行い、その結果、本情報で発表した期日が変更となる場合があります。